

科目ナンバリングコード	HfhZ182101	授業科目名	グローバル共生社会論		
担当教員名	鈴木 赴生				
履修可能開始学年	1年	単位数	2.0単位	授業区分	週間授業
開講年度	2026年度	開講学期	2026年度3Q、2026年度4Q	開講曜日・講時	木曜5限
主要授業科目		クォーター開講科目		セメスター開講科目	

科目分類	国際教養学科／GS学科専門科目(国際文化)	抽選科目		教室	
授業形態種別	講義	授業実施形態	対面授業		
相関するDP(カリキュラム年度2017-2020)					
相関するDP(カリキュラム年度2021-)	DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
相関の有無	●	●			

科目ナンバリングの説明ページへのリンク	https://www.kyoto-seika.ac.jp/campuslife/class/numbering.html	ディプロマポリシー（DP）の説明ページへのリンク	https://www.kyoto-seika.ac.jp/campuslife/class/matrix.html
---------------------	---	--------------------------	---

サブタイトル
同時代人たちの共生へ
授業の目的・到達目標 <div> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル共生社会に関する多様な観点から自他の社会を多角的に捉えるための専門的な知識を習得できる。 ・グローバル共生社会に関する専門的な知識を体系的に理解し、実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。 ・自分で立てた問いをグローバル共生社会に関する専門的な知識にもとづいて分析・考察できる。 </div>
授業の概要 <div> <p>「グローバル化」とはどういう事態でしょうか？そこにはどんな歴史的経緯や問題があるでしょう？この授業では、決まり文句となった「グローバル」という言葉の中身を具体的に掘り下げ、グローバル時代と言われる現代の歪みを捉える視点や概念を学びます。この学びを土台に、多様な価値観や文化的背景をもった人々がいかに関生するかという世界的課題について、自分なりに考えてみましょう。</p> </div>
実務経験／実践的教育
授業計画 <div> <ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション——グローバル時代を生きるための2つの想像力 2 社会学的想像力——身近な世界と遠い世界をつなげて考える① 3 社会学的想像力——身近な世界と遠い世界をつなげて考える② 4 社会学的想像力の活用1——越境する社会と構造的不正義① 5 社会学的想像力の活用1——越境する社会と構造的不正義② 6 社会学的想像力の活用2——「私的なことは政治的なこと」① 7 社会学的想像力の活用2——「私的なことは政治的なこと」② 8 人類的想像力——異なる生活の論理を理解する① 9 人類的想像力——異なる生活の論理を理解する② 10 人類的想像力の活用1——異文化接触の倫理① 11 人類的想像力の活用1——異文化接触の倫理② 12 人類的想像力の活用2——同時代人たちの共生① 13 人類的想像力の活用2——同時代人たちの共生② 14 まとめとフィードバック </div>
授業外学習の指示（予習・復習・課題等）

単位制度の趣旨に則り、次に示す授業外学習(自学自習)時間が必要です。 【1単位につき週あたりに必要な自学自習時間】 クォーター科目：講義・演習 4. 時間、外国語・実習 2.5時間／セメスター科目：講義・演習 2.25時間、外国語・実習 週1.25時間 ※2単位科目の場合は上記を二倍、3単位科目は三倍してください。また、演習科目はカリキュラム年度によって授業時間と自学自習時間の配分が異なりますので、シラバスや科目担当者の授業内での指示に従ってください。この科目では授業外学習として、以下の内容に取り組んでください。

単位制度の趣旨に則り、この授業では週4.5時間の授業外学習が必要となります。
授業内で指示するテキストなどを通して授業外学習を進めて下さい。

評価方法・評価基準

授業参加度：70％
レポート課題：30％

履修条件・留意点及び受講生に対する要望

各自の主体的な学びを期待します。

購入必須テキスト

参考文献・作品等

授業時に適宜指示します。

参考WEBサイト（サイト名・URL）